

業務密着ルポシリーズ
現場力

関東地方整備局
荒川下流河川事務所
岩淵出張所

シリーズ 探訪・探究
訪れたいまち

長崎県波佐見町

特集 輝く女性 の力



めざせ! 整備女士 整備男士

~クルマの安全・安心を守るエンジニア~



自動車整備人材確保・育成推進協議会

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 / 全国自動車大学校・整備専門学校協会 / 全国自動車短期大学協会 / 一般社団法人日本自動車販売協会連合会 / 一般社団法人全国軽自動車協会連合会 / 一般社団法人日本自動車工業会 / 一般社団法人日本自動車連盟 / 日本自動車車体整備協同組合連合会 / 全国自動車電装品整備商工組合連合会 / 全国タイヤ商工協同組合連合会 / 全国オートバイ協同組合連合会 / 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会 / 日本自動車輸入組合 / 公益財団法人日本自動車教育振興財団



特集
**輝く女性
の力**

「男社会」のイメージが根強い建設業界や運輸業界にも、生き生きと輝く女性たちがいます。実力はもちろん、女性ならではの視点や魅力で、それぞれの業界に新しい可能性を吹き込んでいます。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催やリニア開発など華やかな話題の裏で、現場で活躍する担い手不足が心配されている昨今。誰もが働きやすい環境の整備は、今後ますます重要になってくるでしょう。業界のこれからを映し出す女性たちの活躍を特集します。

お知らせ

「ベビーカーマーク」をご存知ですか？

ベビーカーマークは、子育てしやすい環境づくりを目指して「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」が平成26年3月に作成した統一したマークです。このマークがある施設や交通機関では、ベビーカーの安全な使用方法を守った上で、ベビーカーを折りたたまずにご利用いただけます。ベビーカー使用者と周囲の方は、お互いに接触や通行の妨げにならないよう気遣い、気持ち良く利用いただきますようご協力をお願いします。

ベビーカーマーク

エレベーター、鉄道やバスの車両スペースなど、ベビーカーを安心して利用できる場所や設備を示しています。



ベビーカー使用禁止マーク

エスカレーターなど、ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を示しています。



詳しくはこちら

国交省 ベビーカーマーク

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo09_hh_000083.html

こそだてモビ

<http://153.150.114.64/kosomobi/>

お問い合わせ

総合政策局安心生活政策課
03-5253-8111 (内線25503、25514、25515)

【お詫びと訂正】

前号(131号)15ページ右上の図中表記において誤りがありました。

(誤) 日本海 (正) 太平洋

読者ならびに関係者の皆さまにご迷惑をお掛けしましたこととお詫びし、訂正させていただきます。



3 特集

輝く女性 の力

4 女性がイキイキと輝き、長く働き続けられる業界を目指して

6 女性の力で変わっていく建設現場

10 トラガールが拓く道

12 現場密着 ルポシリーズ File.33 現場力

関東地方整備局
荒川下流河川事務所
岩淵出張所

16 教えて! ヒストリー vol.1
荒川放水路と岩淵水門

18 シリーズ探訪・探究
訪れたいまち 第31回
長崎県波佐見町

21 道の駅 vol.20
全国モデル「道の駅」
とみうら(千葉県)
萩一まーと(山口県)

22 イベント・ルポ
ITB Berlin 2015

23 mlit navi

本誌の掲載文で、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りいたします。また、本文記載記事の無断転載を禁じます。



自動車局総務課
専門官 神澤直子

全国各地のトラック事業者を訪ね、業界の現状を把握。初めてトラック事業者を訪ねた際、ドライバーの方々の優しさを感じ、業界の活性化に向けて全力を尽くすことを決意。日本経済を支える屋台骨であるトラック事業が、社会的に正当に評価されるよう、業界改革に平行して事業のPR活動に邁進中。

労働環境改善のきっかけに

大型車は停車できる場所が限られるため、トイレ不足は死活問題。これには男性も悩んでいたが、女性の進出が課題を浮き彫りにした。一部の企業では業務用の地図に利用できるトイレを記載する工夫も生まれている。労働環境の改善は男女両方に恩恵をもたらす。



トラガール(トラック+ガール)のシンボルマーク。女性ドライバーのトイレ利用を歓迎してくれる店舗・施設の目印としても活用されている。

トラガール促進プロジェクト
<http://www.mlit.go.jp/jidosha/tragirl/>
現場で活躍する女性ドライバーの実際を数多く紹介。全国の女性ドライバーを応援、推進するプロジェクトの情報サイト。

女性がイキイキと輝き、長く働き続けられる業界を目指して

以前に比べ、近年は男女で職業の選択や働き方に差がなくなってきました。しかし体力面やライフサイクルに男女の差がある以上、企業や働く女性が越えなければならぬさまざまな課題があることも事実です。いまだ「男社会」のイメージが強い建設業界や運輸業界において、女性活躍を推進している担当者に、課題や目標を聞きました。

女性が働きやすい職場は 誰もが働きたい

建設業界も運輸業界も共にまだ「男性の職場」というイメージが強いですが、

木村 建設業界における女性の割合は全体の3〜4%とかなり低いのが現状です。女性の就業者数がピークだった平成9年時点では約26万人いましたが、その後の景気後退による競争激化などによって、女性就業者数も減っていき、昨今は約10万人にまで落ち込んでいます。これを5年以内に倍増させようという目標を掲げ、業界と連携して女性活躍を応援するさまざまな取り組み

を行っているところです。

神澤 運輸、特にトラック業界も、女性ドライバーの割合が2・4%と極めて低く、中高年の男性ドライバーに大きく依存している状況です。昨年の消費税増税前などには、物流が大幅に増えてトラックが足りないという事態が発生しましたが、いびつな就業者構成がこのまま続くと、同様の事態が今後恒常的に起こりかねません。そうした中で、女性ドライバー(トラガール)というのは非常に大きな戦力であり、トラック業界に新たな風を吹き込んでくれる可能性があるかと期待しています。実は、取得までに時間も費用もかかる

大型免許を保有する女性は、全国に約13万人もいますが、このうち大型車のドライバーとして仕事をしている女性は約8千人しかいません。せつかく大型免許を取得していきながら就業につながないということは、なんらかの要因があるのだらうと思われれますが、それを解決することで女性ドライバーを増やしたいと考えています。

——女性の就業者が多くなると、どんな効果が出ると思いますか。

木村 建設業界でも若年者不足や高齢化が課題です。中長期的な担い手不足が懸念される今こそ、現場環境改善や働き方の見直しによる業界のイメージ

アップが不可欠です。例えば、一般的に女性への配慮と捉えられがちな清潔なトイレや更衣室がある現場は、女性だけでなく誰もが望むものではないでしょうか。また、我が家もそうですが、近年は共働き世帯や介護世帯が増えており、男女問わず仕事と家庭の両立環境整備が必要です。保育園への送り迎えに対応できるような勤務時間の見直しや、子どもの急病対応休暇に備えた周囲のバックアップ体制の整備など、ソフト環境改善を望む声があります。

女性が働きやすい環境を 業界と共に整えることが不可欠

——どうしたら女性が増えると思いますか。

神澤 まず、業界全体で女性を受け入れようとする意識がまだ低いこと、一般の女性がドライバーという職業をとってもハードルが高いと感じていることといった「意識」の問題をクリアすることが必要だと思います。そこで、国土交通省ではトラガールサイトの開設

などを通じてPRを強化している他、あらゆる機会に事業者の意識改革に向けた啓発を行っています。また、トラックを停めて安心して利用できるトイレの少なさを、特に長距離輸送の場合に車内で寝泊まりするような勤務形態など、就業環境の改善が必要だと考えています。トイレ問題の改善を図るために、コンビニエンスストアやガソリンスタンドに協力を依頼している他、「安心してトイレを利用できる場所」という目印となるトラガールステッカーの普及に努めています。

土地・建設産業局建設業課
課長補佐 木村よし子

「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」の策定に携わる。数ヶ月に一回、仕事を通じて知り合ったゼネコンや建設コンサルで活躍する女性で集う「けんせつ小町会」に参加。自らも二児の母として、周囲に支えられながら仕事と育児に奮闘中。子どもと共に、通りかかった工事現場のチェックは欠かせない。



もっと女性が活躍できる建設業行動計画(10のポイント)

女性技術者・技能者の5年以内の倍増を目指す

- ① 建設業界を挙げて女性の更なる活躍を歓迎
- ② 業界団体や企業による数値目標の設定や、自主的な行動指針などの策定
- ③ 教育現場(小・中・高・大学等)と連携した建設業の魅力ややりがいの発信
- ④ トイレや更衣室の設置など、女性も働きやすい現場をハード面で整備
- ⑤ 長時間労働の縮減や計画的な休暇取得など、女性も働きやすい現場をソフト面で整備
- ⑥ 仕事と家庭の両立のための制度を積極的に導入・活用
- ⑦ 女性を登用するモデル工事の実施や、女性を主体とするチームによる施工の好事例の創出や情報発信
- ⑧ 女性も活躍しやすい教育訓練の充実や、活躍する女性の表彰
- ⑨ 総合的なポータルサイトにより情報を一元的に発信
- ⑩ 女性の活躍を支える地域ネットワークの活動を支援

H26.8.22 国土交通省・建設業5団体策定

建設業における女性活躍の応援

女性のさらなる活躍を目指し、平成26年8月に国土交通省と業界団体で『もっと女性が活躍できる建設業行動計画』を策定。誰にでもわかりやすく『10のポイント』で紹介。

建設産業で働く女性がカッコイイ

<http://genba-go.jp/know/woman/>

建設業で活躍中の女性、活躍したい女性を応援する総合ポータルサイト。



※肩書きはそれぞれ取材当時のものです

- 1 現場の入り口に置かれた鉢植え。花言葉も添えられている。
- 2 現場では作業着のメンバーも、通勤時は思い思いにおしゃれを楽しんでいる。
- 3 図面を広げる金本さんと本橋さん。自分の仕事が建造物となって何十年も残ることを誇りに感じている。
- 4 扉の建具を埋め込み溝をつくる嶋貝さん。松岡所長は「コンクリートを削る（研り／はつり）技術・精度では、男性も含めて彼女がナンバーワン」と語る。
- 5 女性チームをつくることは、女性視点からの気付き・要望を発信しやすくし、労働環境の改善や仕事の質向上にもつながっている。



の研究室で男性と同じように学びましたので、就職でも性別は関係なく学んだことを生かせる仕事をしようと思いましたが「と、平成20年に迷いなく建設業の世界に飛び込みました。「先輩方のときは、女性ということで半人前扱いされることもあったようです。でも私は、嫌な思いをしたことはないですね。かえって配慮していただいていると思います。男性の意識が変わってきたのではないのでしょうか」

女性らしさを発揮する「なでしこ」 職場環境を心地よく

トイレ入り口の「きれいに使しましょう」と書かれた貼り紙など、現場のあちらこちらに美化意識が感じられます。定期的に女性講師を招いてラジ

オ体操やストレッチの指導をしっかりと受けるのも、女性らしいアイデア。仕事に男女の能力差はなくても、性質の差はやはりあります。せつかつくなら女性らしさを持ち込んで、職場環境を心地よくしていきたいものです。

チームとしての声発信で 意識変化のさらに一歩先へ

「建物として形が残る仕事に、やりがいを感じています」と口をそろえる女性たちは、現場にフレッシュな空気を吹き込みつつ、今日も作業に打ち込んでいます。

『美・TORIIZAKA♡』チームのメンバー。前列左から、時岡直子さん（施工事務）、チームリーダー廣瀬茉莉子さん（施工管理）、金本純愛さん（施工図）、本橋昌子さん（施工図）。後列左から嶋貝悦子さん（研工／はつりこぎ）、熊谷理恵さん（防水工）、谷村愛美さん（家具工）、吉原有紀さん（タイル工）。



チームで発揮する女性力
なでしこ
工事チーム

一般社団法人日本建設業連合会は、建設業における女性の活躍をアピールするため『なでしこ工事チーム』を登録・紹介しています。登録数は現在約20チーム。株式会社竹中工務店の『美・TORIIZAKA♡』チームを取材しました。

男性の意識も変わってきた 建設の現場

なでしこ工事チームの一つ『美・TORIIZAKA♡』は、工事の進行度合いによって若干メンバーの入れ替わりはあるものの、専門工事会社の作業員の女性も含めておよそ8〜9人の女性たちで構成されています。その細やかな仕事ぶりは際立っており、現場の作業所長である松岡久史さんは「建築の現場では、男性より女性の方が優れている場面が多々あります」と賛辞を惜しみません。

女性
の
力
で
変
わ
っ
て
い
く
建
設
現
場

少し前までは、「建設業は男の仕事」という考え方が根深く、たとえ「働きたい」と情熱があっても、女性が活躍するのは簡単ではありませんでした。しかし時代の変化と、逆境でも実力を示したパイオニアの女性たちによって、現場の意識は変わりつつあります。

ゼムケンサービスは北九州市の建設会社。『オモイをカタチに 建築は統合芸術』を経営理念にユニークな経営で注目されている。



すべての男女の力が生きる職場
籠田 淳子さん
 平成27年1月に内閣府から「女性が輝く先進企業表彰・内閣府特命担当大臣表彰」を受けた北九州の有限会社ゼムケンサービス。女性ならではの視点を強みに、女性中心の建設会社を経営する籠田淳子さんを訪ねました。

女性は人とつながることで自分の成果を実感できる

ゼムケンサービスの代表取締役を務める籠田さん。建設業界に「女性力」という新しい風を吹き込み、注目を浴びています。女性力とは、場の雰囲気や周囲の空気、周りの配慮が、できること、女性は何を必要とされ、どうすれば喜ばれるのかを考え、色や香りのような感性の部分も大切にします。

ゼムケンサービスでは女性建築デザイナーチーム（略称：JKDT）を結成し、「リビングにランドセル置き場を作ると、子どもが散らかす原因がなくなる」「読み聞かせを大切にしているから、寝室へ行く途中に絵本の置き場を」といった、それぞれの家庭のストーリーを大切に設計を実践しています。

「女性は昔から人とつながることを喜びとし、それを仕事の成果にしていることが得意です。お客さまや仕事仲

優れた技術者を大切にしたい

三好フローリング
高橋利率代表取締役

いま、技術者の数は多くありません。高い技術を持つ星野さんのような女性には、ぜひ仕事を続けてもらえるよう、勤務時間や環境改善でもサポートしたいと思います。今後は建設マスターも視野に、ますます技術を磨いてもらいたいですね。



1 正確かつ素早く石膏ボードを骨組みに貼る作業。技術の差が仕上げの美しさに出る。
 2 親方と星野さん、妹の篠原絵玲菜さん。4つ年下の絵玲菜さんは、仕事を始めて2年目。
 3 家に帰れば優しいママの顔に。

目指せ！女性の親方
星野 優奈さん

建物の骨組みに壁や天井の下地を取り付けるボード施工。その一級技能士の資格をわずか26歳で取得し、現在、千葉県の三好フローリング株式会社から仕事を請け負っている星野優奈さんにお話を伺いました。

子育てと両立しながら技術者の腕で勝負

平成26年、星野さんはボード施工一級技能士の試験に県内トップの成績で合格し、同時に優秀賞を受賞しました。「やはり自信になります。女性でもしっかり仕事ができることのアピールにもなりました。男性と張り合うというよりは、皆さんに娘のようにかわいがっていただきながら、これからも恥ずかしくない仕事をしていきたいです」と語ります。

星野さんの毎日は、朝7時に1歳3カ月の長女を保育園に預けることから始まりです。それから現場に向かい、夕方5時頃まで仕事。現場の場所によっては朝礼が始まる8時に間に合わないこ

もっと多くの女性に建設業の魅力を

星野さんは、小学生の頃に手抜き工事のニュースを見て、建設関係の仕事に興味を持つようになりました。「自分ならもっと丁寧にするのに」その思いから、内装工事をやっていた友人のお父さんの下で技術を学び、今では一人前の技術者として活躍しています。生き生きと働く姉の背中を追って、妹の篠原絵玲菜さんも同じ世界に入りました。姉妹の願いは、内装工事に女性技術者の仲間がもっと増えること。腕力の部分で男性にサポートしてもらうこともまれにあります。ほとんどは女性でもこなせる仕事です。星野さんも今では、1枚12kg以上もある石膏ボードを2枚同時に運べます。「仕上げ材をきれいに貼る仕事が好きです」と楽しそうに星野さんが、親方として女性チームを率いる日も近いかもしれません。

間とつながることが大事。思いの共有が顧客満足・従業員満足を両立させ、それが業績にも反映され、会社もとても満足です」と籠田さんは笑います。

男性とも手をたずさえて女性力は「男女共創」へ

ゼムケンサービスに女性が占める割合は6〜7割。ワークシェアリングを取り入れ、それを会社の強みにしてきました。ワークシェアリングが成功したのは、みんな子育てや介護などを背負う「ウケあり」だったから。それぞれの背景を、籠田さんも含めてさらけ出し、家族のように理解し合える関係を築いています。

ただし、女性が集まるだけで女性力が発揮できるわけではありません。「私が、建設業界のジャンヌ・ダルク」として業界変革に奔走しているように、社員にも強みを端的に示すアピールポイントが必要です」と、一人ひとりの個性を見極めた人材の構築も積極的に進めています。

女性力で成長してきたゼムケンサービスですが、これからは一歩先に進んで「男性力」にも期待しています。女性力は男性が引き出し、男性力は女性が引き出すもの。どちらかに偏らず、お互いの力を引き立て合う「男女共創」を見据える籠田さん。時代の流れを読みながら、新たなステージへと歩みを進めています。



ゼムケンサービス代表取締役の籠田淳子さん。父が営む工務店で、幼少期から多くの職人さんたちと付き合ってきた。一級建築士・インテリアプランナーなど、多数の資格を保有。北九州市ワークライフバランス市長賞・内閣府女性のチャレンジ賞・ダイバーシティ経営企業100選ほか、多数受賞。

三郎丸団地集会所移転新築工事の現場代理人として指揮を執る、一級建築士の根本かおりさん。小学校6年生の女の子のお母さんで、男性の現場監督がアシスタントについてワークシェアリングをしている。



ユニークな「しきたり」に表れたゼムケンサービスの社風

- 11:30~13:00にみんなで楽しく食事。
- 夕方社員の子どもが下校してきたら、子どものおなかはずかせない。
- 22:00~5:00は仕事をしない。
- 子どもが学校行事は積極的に参加。
- 現場は妥協のない清潔さを保ち、事故のない環境をつくる。(一部を抜粋)

女性建築



ハンドルを握る代田さん。一人ひとりが責任を持って配送する仕事に、今でも緊張感を覚えるそうだ。「そこがやりがいでもあるし、慣れてしまっただけは、むしろ怖いと思っています」

トラック運転手は 定年まで 続けたいくなる 仕事です

七福運送株式会社



左から、若月悦子さん、代田雅子さん、永友みゆきさん、栄真佐美さん。女性同士はもちろん、取材中の現場を通り過ぎていく男性社員らとも和気あいあいとした雰囲気笑顔が絶えない職場。

トラガールが 拓く道

“女性は運転が下手”はもう過去のこと。運輸業界で活躍するトラガールは男性と同等の戦力として現場で輝いています。

コンテナを積んだトレーラーは、全長16m、高さ最大4.1mに達する。この巨大な車両を自在に操り、定められた場所へびたりと駐車する運転技術は、まるで手品のように鮮やかだ。

男女問わず仲間と同じ仕事ができる
今が幸せ
株式会社グリーンエース



秋村さんはコンテナミニターミナルへの搬入待ち時間を有効に活用するために必要な英語を勉強するのが今の楽しみ。いつかは飛行機の資格も学びたいと笑顔を見せる。

男性の職場で信頼を得るまでの 長い道のり

海上コンテナの輸送サービスを行うグリーンエースには、二人のトラガールが在籍しています。彼女たちが運転するのは、コンテナを積んだ大型トレーラー。巧みにハンドルをさばって全長16mに及ぶトレーラーを自由自在に操るのは、トラガールとしてキャリアを積み19年目を迎える秋村妙子さんと、21年目の水口葉子さん。高い技術が必要とするトレーラーも昔の大型トラックに比べれば、ハンドルやブレーキの性能が改善されており、乗りやすいのだとか。ただ、コンテナを積載しているときの走行の不安定さやコンテ

ナの大きさで異なる車両の長さ・高さの感覚をつかむのは、長年の経験があっても簡単ではないそうです。

もともとは事務員だった水口さんがこの仕事に転職した理由は「大型トラックに乗る女性運転手を見てカッコいいと思った」から。秋村さんも「当初はタクシードライバーが目標だったが、運転技術向上とお金を稼いだかった」と、きっかけはシンプルでしたが、経験を積んでいくうちに、もっと大きなトラックに乗りたいう気持ちも膨らみ大型免許を取得。しかし現実には厳しく、大型車の免許を持っていたても運転経験がない女性にはすぐには雇ってもらえません。男性なら一足飛びで大型トラックに乗れるところ、

2tから4t、7t、10tへと経験を積みなければならなかったそうです。また、女性というだけで技術がないと判断され悔し涙を流したことも。「つらい事もあったけど、取引先から優しく接してもらえたり女性としてのお恩恵もあったので、苦勞を乗り越えられました」と二人。今では会社の仲間はもちろん、本多康彦社長からも「始業点検や運転操作に関してとても細やか」と、太鼓判を押されるほどの信頼を得ています。

長時間待機も時間の有効活用で ストレスフリーに

彼女たちの出社は朝5時。始業点検、対面点呼、アルコール検査を行った後、

就業時間とやりがいが トラック運転手の魅力

一方、大型車と比べ普通免許で運転できる※2tトラックでは、女性運転手の活躍の場が広がりを見せています。七福運送にも、20年以上の経験を持つ代田雅子さん他、15年以上の経験豊富な8名のトラガールが在籍し活躍しています。彼女たちがトラガールになったのは、「デスクワークが苦手」「シングルマザーだから稼ぐ仕事に就きたい」「運転が好きだから」「他の仕事が見つからなくて」など、理由はさまざま。憧れや興味から始めた人は決して多くはありませんが、仕事を続けていくうちに仕事の面白さや充実感を体感し、今ではみんなが「仕事が楽しくて辞められない」と口を揃えて言います。

その理由の一つが、時間を有効に使えること。新聞輸送などを取り扱う七福運送では、午前10時～午後2時、午後10時～午前2時に輸送作業を行っており、合間の時間は子育てや家事など、自由に使えることが魅力だそうです。「夕方から夜にかけて掃除や夕食の準備もでき、仮眠も取れます。朝は子どもを見送ってから仕事に行けるのでとても助かっています」と、子育て中の永友さん。

また、達成感があることも魅力の一つと話すのは、子育て後にトラガールに復帰した若月さん。「工場から各管

業所まで、輸送作業を一人だけで行うので責任は全て自分。その責任感がやりがいにつながっている」と語りま

女性の不便さを 感じさせない社風

大型車同様、パンクや雪の日のチェーン装着など、女性だけでは難しい作業もありますが、七福運送では男性社員が率先して手伝ってくれるそうで、その社風が女性の働きやすさにつながっています。

鈴木祥太社長は「多くの女性運転手がいることで、会社の雰囲気がとても明るくなります。男性社員も責任感を持って仕事に取り組み彼女たちだからこそ、仲間意識を持って協力しているのだと思います。女性はコミュニケーションの取り方もうまく、相手先からの当社イメージも向上します。トイレやロッカー設置など、ハード面に投資がかかっても会社には必ずプラスになります」と話し、今後も女性運転手の獲得に意欲的です。

代田さんは、運転手は女性にお勧めできる仕事と誇らしく語ってくれます。「楽しくてやりがいのある仕事だから、若さも保つことができているんです。できれば定年までずっと続けていきたいですね。トラガールは男性中心の職場で敷居が高く感じるかもしれませんが、私にとっては魅力いっぱい仕事です。責任感のある人には、ぜひ挑戦してほしいです」

※平成19年の道路交通法改正により、平成19年以降の免許取得者は2tトラックであっても車両総重量が5tを超える場合、中型免許が必要となります。

首都・東京を 洪水から 守るために

荒川下流域の施設管理の取り組みと 岩淵水門の耐震性能強化

首都・東京のオアシスとも言える荒川。その穏やかな流れを守っている、荒川下流河川事務所・岩淵出張所でも女性が活躍しています。平和な河川敷を維持する職員たちを紹介します。



関東地方整備局
荒川下流河川事務所
岩淵出張所

人知れず都心を水害から 守り続ける岩淵水門

山梨、埼玉、長野の3県が接する甲武信ヶ岳を水源とし、東京湾に注ぐ荒川。全長173kmに及ぶ荒川のうち、下流部の約22kmが、実は約85年前につくられた人工河川であることをご存じでしょうか。約20年間の工期をかけて洪水対策のためにつくられたこの人工河川は、少し前までは「荒川放水路」の名で呼ばれていました。同様に隅田川に流れ込む洪水をせき止めるために設置されたのが岩淵水門

(東京都北区)です。以来、幾度も隅田川の氾濫を防止し、都心を守り続けているこの岩淵水門と、水門を含む周辺域を管理するのが、国土交通省関東地方整備局の荒川下流河川事務所・岩淵出張所です。

誰もが安心して暮らせる川へ

岩淵出張所が管轄しているのは、埼玉県戸田市と東京都板橋区を渡す笹目橋から下流へ約14km、足立区の西新井橋までの区間です。この区間内にある施設の維持管理を担当しているのが、管理第三係長の五月女絵美。巡視員からパトロール

中に発見された施設の破損、異常などの報告を受けると、その対処を考え補修工事の指示を出します。「ゴミの不法投棄、舗装の段差やひび割れなどは日々見つけたり「限られた時間と予算で優先順位を整理するのに悩むこともある」と語ります。

周辺住民や河川の利用者から通報が入ることもあります。その際は、まず通報された現場を確認し、速やかに対処することを心がけています。「まれに通報された方が、修繕後にお礼を言ってくることがあります。そのときは、すぐに対応して良かったなと思います」。その他、河川法などの申請窓口も兼任しており、河川のグラウンドにベンチを設けたい、付近に住宅を建てたいなど、各方面からの申請に、申請者と対話しながら審査に必要な準備を進めます。

ゴールデンウィーク前には「安全利用点検」に出動します。管理区間を4区画に分け、1区画10人程度のチームで川の両岸を歩いて点検します。見つけた異常は、その場で対処できるものはすぐ対処し、後日の対応が必要なものは、タブレット端末のGPS機能で位置を記録して、出張所に戻ってから詳細を検討します。今回取材した点検の日はいくくの雨でしたが、天気良ければ、河川敷で元気に遊ぶ親子連れもたくさん見えます。「そつした光景を見ると、大人も子供も安心して遊べる、危険のない川にしなければならぬと感じ、仕事にもいっそう熱が入ります」

現在の荒川下流域。岩淵水門から下流の荒川は、昭和5(1930)年の竣工以降「荒川放水路」と呼ばれたが、昭和40(1965)年に「荒川」を正式名称とし、それまでの荒川が現在の隅田川になった。



これまでの岩淵水門の閉鎖	岩淵水門観測所の最高水位
平成3年9月	台風18号 A.P. +4.11m
平成11年8月	熱帯低気圧 A.P. +6.30m
平成13年9月	台風15号 A.P. +4.70m
平成19年9月	台風9号 A.P. +5.09m

※A.P.(荒川工事基準面 Arakawa peil)は荒川水系で使われる水位の基準面。



平成27年4月に行われた「安全利用点検」の様子。岩淵出張所職員を含む約20名が出動し、複数のチームに分かれ、設定した区画を丸一日かけて歩く。別班ではさらに河川に近いエリアも点検。

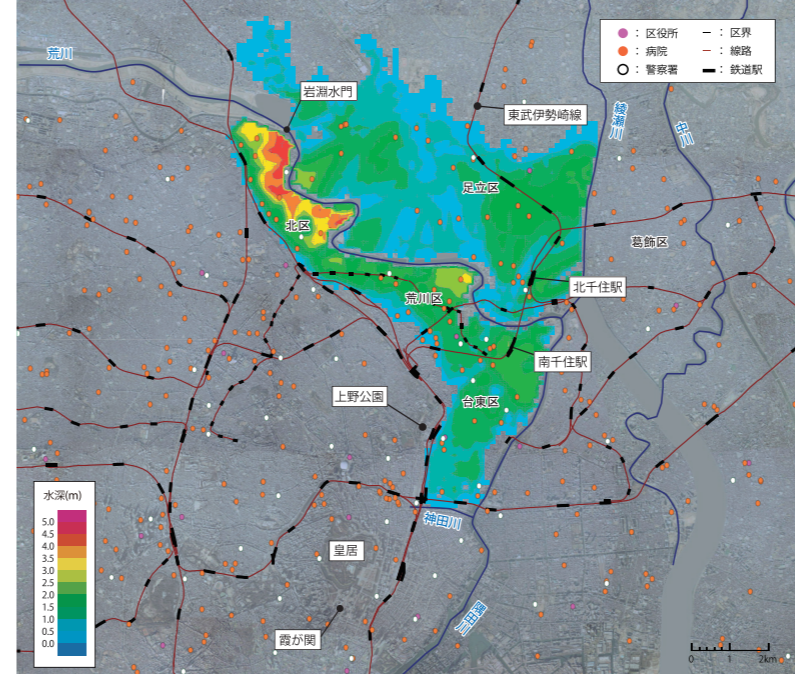


手すりの留め具の破損を発見。後日の修繕が必要のため、記録写真で掲示するボードに位置、状況などを詳細に記録。この点検は、ゴールデンウィーク前と学校が夏休みに入る前に実施する。

もしも荒川放水路と岩淵水門が存在しなかったら？

平成19年の台風9号の場合

この台風では岩淵水門上流の笹目橋地点で毎秒4500m³の流量が観測された。もし放水路と水門がなければ、北区・荒川区・台東区を中心に都市部の約50km²が浸水。一部の鉄道が止まり、広範囲で交通網が寸断されることになったと考えられる。
※シミュレーションは荒川本川からの洪水流下のみ考慮。利根川その他の河川の影響は考慮していない。
※地盤高は航空レーザー測量データに基づいて設定。



視野を広げた治水の仕事

大学時代は生態系やリサイクルなど、環境系が専門だった五月女。現職に就いたきっかけを聞くと「正直、最初から志があつたわけではないんです」とはかみず。入省後、配属先の希望を河川・道路・港湾の三部門から聞かれた際、河川の自然が自分の関心に近いかな、と考えたそうです。「ここに来てから、治水の仕事の重要性を知りました。まず河川の安全・安心があつて初めて、私たちは自然環境やグランド利用といったことに関心を向けることができるんです。この仕事に

就き、視野を広げることができました」

現在、2歳の娘を毎日、保育園へ送り、上司や周りの職員の協力を得て、1日7時間、残業無しの勤務体制で仕事をしています。しかし育児・家事との両立は簡単ではなく、「その日その日をなんとかこなす」といった調子だとか。今後の目標は、まず仕事を続け、自分の役割をきちんと果たすこと。娘が大きくなったとき、「お母さんが川に携わる仕事をしていて良かった」と言ってもらいたいと笑います。そして、いつかは河川の水質調査や生物調査に関わる部署で、自分の知識をさらに生かしたいと、少し控えめに、落ち着いた物腰で話す言葉の中にも、力強い意志が感じられました。

大きな地震に備えさらなる耐震強化を図る

岩淵水門は現在、大規模な耐震補強工事を行っています。この工事業務を担当し、施工業者と連携しているのが、岩淵出張所管理第二係長の森田貴之。今回の耐震補強工事は、平成7年1月の阪神淡路大震災、そして平成23年3月の東日本大震災での教訓を踏まえ改正された、新たな耐震基準に基づいています。新基準では、想定できる最大規模の地震が起きても、水門を確実に



近隣住民や利用者の声に耳を傾け、周囲の理解の下で施設を維持管理するのも大切な仕事。なかには「女性だと話しやすい」という利用者もいる。

柔軟性のあるルールの運用

しかし実際の工事は、書き下ろした手続きのように簡単には進みません。鉄筋を挿入するRMA工法では、穴を掘る作業にも工夫が必要です。鉄筋は、図面とぴったり同じ位置にあるとは限らず、前もって探査機で柱内部の鉄筋配置を探りますが、これも表面近くを走る鉄筋しか分かりません。穴を掘る途中で既存の鉄筋にぶつかることがしばしば起きます。穴の位置を適切にずらし、再び削孔する必要が生じるのです。

置します。最後は、仕上げ剤で表面を塗付。工事の痕跡を残さず美観を整えることも、公共施設では大切です。

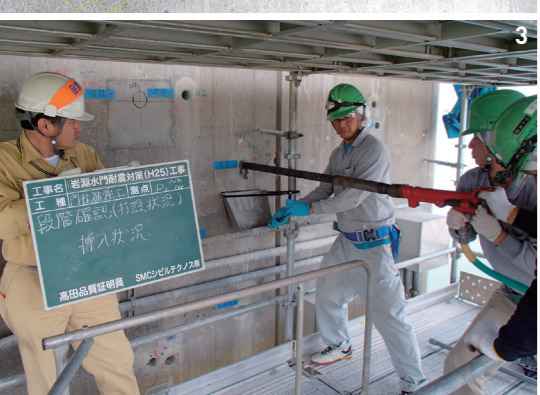
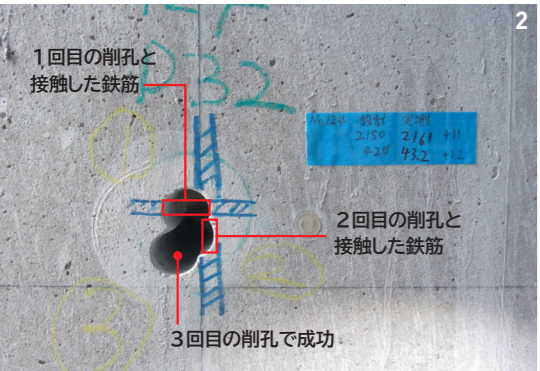
河川を守る本来の目的

川幅500mに及ぶ荒川は、穏やかな流れと広い河川敷で、都会の生活に潤いを与えてくれる存在です。しかし、ひとたび洪水が起きれば、荒川流域に住む人々にとって脅威となります。岩淵出張所所長の伊藤克雄は、自分たちの仕事をこう語ります。

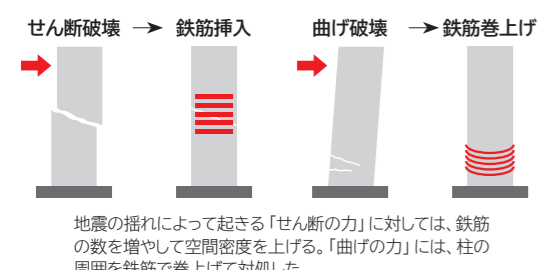
「河川の安全を確保するため、さまざまな基準やルールを守って仕事をすること、目の前の仕事にとらわれ、本来の目的を忘れてはいけません。私たちの仕事は、地域の方々の安全と資産を守りつつ、河川敷を快適に使っていただくこと。それを忘れず、業務に取り組みたいと思います」
東京の安全を守るために、今日も岩淵出張所の職員たちは現場で仕事に取り組んでいます。



所長 伊藤 克雄



1 「AT-P工法」の施工部分の確認。災害時には都市の人命と資産に関わる、責任の重い仕事だ。
2 水門に埋め込まれていた既設鉄筋と、今回補強した鉄筋の位置関係。既設鉄筋と接触した場合は、再度削孔をやり直す。
3 RMA工法で補強の鉄筋を打設している。



地震の揺れによって起きる「せん断の力」に対しては、鉄筋の数を増やして空間密度を上げる。「曲げの力」には、柱の周囲を鉄筋で巻上げて対処した。



関東地方整備局 荒川下流河川事務所 岩淵出張所管理第二係長 森田 貴之



関東地方整備局 荒川下流河川事務所 岩淵出張所管理第三係長 五月女 絵美



荒川放水路をつくるため、掘った土をトロツコで運ぶ人々。工事は工程によって蒸気機関車や蒸気船なども使われたが、現在と比べると人力の作業の比率が大きかった。この工事で掘った土は2180万m³（東京ドーム18杯分）にも及んだ。

教えて！
ヒストリー
vol.1



東京都
荒川放水路と岩淵水門



最先端の技術でつくられた
荒川放水路と岩淵水門

今日は荒川下流河川事務所の藤枝調査課長に荒川放水路と岩淵水門の歴史を教えてください。

はい、よろしくお願ひします。

お願ひします。

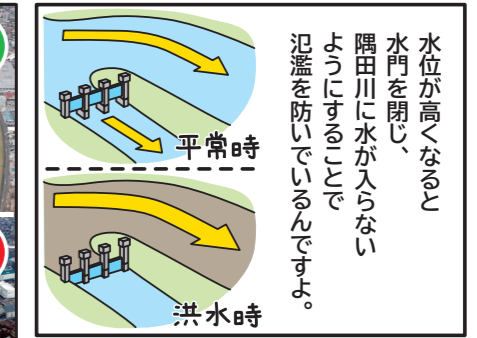
現在の隅田川は、かつての荒川下流域であり、江戸時代から物資を運搬する重要な航路でした。しかし、大雨などで洪水が起こるたびに人々の暮らしを脅かしていました。江戸幕府は「日本堤」と「隅田堤」という堤防をつくりました。この二つの堤防により下流側へ流れる洪水の量は制御できたため、江戸中心部の被害は減りましたが、上流側の農村では大きな水害に見舞われ続けました。

水を東京湾に流すための水路「放水路」をつくるしかない。そう決断した明治政府は、荒川放水路の計画に着手しました。

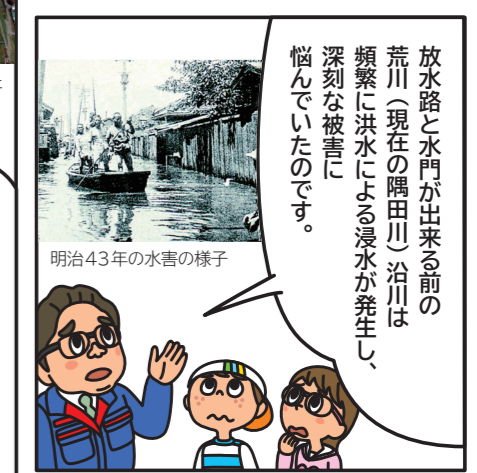
荒川放水路は現在のJ-R京浜東北線付近から東京湾まで全長約22kmに及ぶ大工事となりました。人家が密集した地域は迂回しましたが、それでも約1300世帯が移転しなければなりませんでした。風水害や関東大震災に見舞われながらも工事は続けられ、昭和5（1930）年、荒川放水路はようやく完成したのです。工期は約20年間に及びました。

荒川放水路の全面竣工に先駆けて、大正13（1924）年に完成したのが旧岩淵水門です。この水門は、台風などの洪水時に上流からの水が荒川（現・隅田川）に流れ込むのを制御する役割を持っていました。放水路と水門は共に流域の資産を守るためには欠かせない存在なのです。

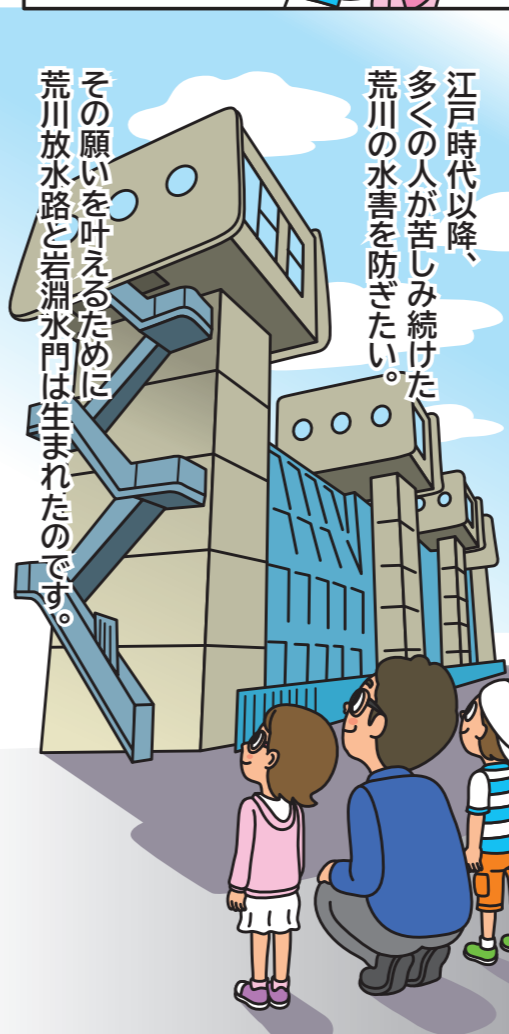
旧岩淵水門の建設に関わった人物の一人に青山士がいます。青山は日本人で唯一、パナマ運河の建設に参加した土木技術者です。8年間にわたりパナマでの工事に参加し、世界でも最先端の土木技術を学んだ青山は、水門の基礎を川底より地下20mにわたり鉄筋コンクリートにすべきだと主張したのです。そこまでの堅牢性を持たせるべきかの議論はありましたが、最終的には青山の案が採用されました。結果とし



平成11年の洪水で水門が閉じられた様子



明治43年の水害の様子



江戸時代以降、多くの人が苦しみ続けた荒川の水害を防ぎたい。その願いを叶えるために荒川放水路と岩淵水門は生まれたのです。

放水路と水門ができたことで、東京のまちの暮らしはずっと安全なものになりました。

も被害を受けずにすんだのです。て、工事中で関東大震災が起きた際も被災を受けずにすんだのです。

台風や大雨などの水害から流域の増大する資産を守る

荒川放水路が完成した後、昭和22（1947）年にはカスリーン台風の来襲によって関東地方は大きな被害を受けましたが、東京の中心部は荒川放水路によって守られました。洪水の水位は、計画されていた最大水位を1m以上も上回りましたが、放水路区間では決壊した堤防はありませんでした。

太平洋戦争後、荒川放水路流域の都市は発展を遂げていきます。しかし、その一方で急激な地下水のくみ上げによって地盤沈下が起こりました。地面の高さが低くなっても、川の水位は変わりません。水害を防ぐために荒川放水路の堤防を高くする工事が行われてきました。

もっと知りたい人は行ってみよう！
荒川知水資料館
(通称:アモア)

住所 東京都北区志茂 5-41-1
電話 03-3902-2271
休館日 毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始
開館時間 9:30~17:00(7~9月17:30、12~2月16:30まで)
入館料 無料
詳しくはホームページをご覧ください
http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index007.html



しゅく 宿地区



▲今里酒造 (国登録有形文化財)

▶旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂。和洋の要素を取り込んだ秀逸な意匠の大型木造建築物。国の登録有形文化財に登録された。
 ▼内部は吹き抜けで思いがけない広さに驚く。音の響きがすばらしく、音楽イベントなどが開かれる。

西ノ原地区



▼旧福幸製陶所建物群 (きゅうふっこうせいとうしよたてものぐん) (国登録有形文化財)



鬼木地区



◀「日本の棚田百選」に選ばれた鬼木棚田(おにきたなだ)は四季折々に美しい姿を見せてくれ、毎年9月に開かれる「鬼木棚田まつり」ではユニークな案山子(かかし)コンテストなどでにぎわう。

中尾地区



至る所に飾られた波佐見焼やレンガ煙突が窯元のまちの雰囲気盛り上げる。



▼中尾郷のまち並み。17世紀中頃からやきものを生業(なりわい)としている密集集落で、やきものに関する遺産が多く残され、訪れる観光客は年々増えている。奥の山肌に見えるのは江戸時代に築かれた中尾上登窯跡(なかおうわのぼりかまあと)で、世界第二位の規模であった。



かつての屋号が玄関先に立つ。いくつ見つけれられるかな?



波佐見町役場の佐藤さん(左)と西さんとマスコットキャラクターのはちやまる。「来なっせ100万人」をスローガンに、町民の皆さんと一緒に観光によるまちづくりを進めています。年間を通して途切れることのないイベント、やきもの体験や農業体験などの体験メニュー、復活したはさみ温泉、新しい宿泊施設などを揃え、たくさんの方が訪れてくださるのをお待ちしております!



はちやまる

庶民のための器として親しまれてきた波佐見焼
 江戸時代、大阪の淀川(よどがわ)を行き来する舟の乗客に「飯くらわんか、酒くらわんか」と声をかけながら軽食や酒を売る商いが繁盛していた。使われた器は「くらわんか碗」と呼ばれ、飲食後は淀川へポイと捨てられた。その後、使い捨てられるぐらい安い日常食器を「くらわんか」と呼ぶようになる。波佐見は世界に類を見ない巨大な登窯(のぼりかま)。



▲くらわんか碗。素早い筆使いで生き生きとした模様が描かれ、素材な温かみを感じられる。

波佐見焼の郷(むら)・波佐見町は長崎県の中央部に位置し、緑豊かな山々に囲まれた盆地で、長崎県で唯一海に面していない「海なしまち」。やきもの他に農業も盛んで、のどかな田園風景が美しい所だ。歴史・文化のあるやきもの郷のまち並み、酒蔵を始めとする歴史的建造物、山あいの棚田(たなだ)や茶畑、川沿いに広がる水田の風景。これら魅力ある、波佐見らしい景観(けいがん)を未来につなぐため、住民や行政など地域が一体となって守り育てることを目指している。

暮らしの中に歴史や文化、やきものや農業の営みが息づく
 波佐見焼の郷(むら)・波佐見町は長崎県の中央部に位置し、緑豊かな山々に囲まれた盆地で、長崎県で唯一海に面していない「海なしまち」。やきもの他に農業も盛んで、のどかな田園風景が美しい所だ。歴史・文化のあるやきもの郷のまち並み、酒蔵を始めとする歴史的建造物、山あいの棚田(たなだ)や茶畑、川沿いに広がる水田の風景。これら魅力ある、波佐見らしい景観(けいがん)を未来につなぐため、住民や行政など地域が一体となって守り育てることを目指している。

やきもののもち、波佐見町

千葉県
とみうら

住所 千葉県南房総市富浦町青木123-1
電話 0470-33-4611
HP <http://www.biwakurabu.jp/>



毎年2~3月は
菜の花で一面が黄色に染まります

道の駅
vol.20
全国モデル「道の駅」

グリーン屋根が目印の道の駅「とみうら」は千葉県初の道の駅。『枇杷倶楽部』の愛称で親しまれ、地域の伝統・文化発信、地元野菜・花卉の販売など、南房総の地域の拠点となっています。

毎年5月上旬から6月下旬にはびわ狩りが楽しめ、レストランではびわを使った料理や特製ドリンクが人気。「びわカレー」もオススメです。

色とりどりの季節の花が迎える花畑や小川の散歩道で、人気のびわソフトを食べながら散策したり記念撮影したり、ゆっくりくつろいではいかがでしょうか。



毎年、皇室へ献上している「房州びわ」が名物



他では味わえない? びわカレー



大人気のびわソフトクリーム



春には桜も楽しめる小川の散歩道



鈴木賢二さん

スタッフに聞きました!

献上枇杷100年の歴史を持つ特産の房州びわを使ったスイーツが楽しめ、ショップにはオリジナル商品が50種類以上。毎日アイスクリーム工場で製造しているオリジナルの「びわソフトクリーム」は大人気です。

スタッフに聞きました!



侯野 浩さん

秋市は年間250種類の魚が水揚げされ、四季を通していろいろな魚を楽しむことができます。かつての公設市場のように売り手と買い手が会話を楽しみながら買い物をし、おいしい魚の食べられるまちであることを発信していきます!

山口県
萩しーまーと

住所 山口県萩市椿東北前小畑4160-61
電話 0838-24-4937
HP <http://seamart.axis.or.jp>



市場のような熱気あふれる
オープンな空間です



萩の前浜で捕れたちりめんも人気



新鮮な魚介類

ここだけの
加工品も多数



江戸時代の城下町風情が残る、日本海に面した萩市。昔懐かしい市場を再現した「萩しーまーと」は萩近海の新鮮で旬な魚介類が自慢です。毎日、漁港から水揚げされたばかりの魚介類が店頭に並び、ここでしか手に入らない加工品も多数あります。年間約140万人の人が訪れ、観光客や日常の買い物に利用する地元の方で売り場はいつも大にぎわい。

鮮魚を使ったメニューが楽しめる海鮮レストランでは、購入した魚介類を持ち込んでお好みに調理してもらえ「勝手御膳」が好評。キッチンスタジオでは魚を使ったクッキング体験もできます。



▼陶房「青」ギャラリーの外観と店内



▲中尾郷自治会長 北村さん

▲中尾郷の窯元の一つ、陶房(とうぼう)「青(あお)」の吉村さん。工房にはターンの職人さんやドイツから来た職人さんもいる。御年90歳のおばあちゃんも現役で作業をしている。ギャラリーに並ぶモダンな器は若い女性に人気が高いが、吉村さんは伝統ある染付をこれからも大事にしていきたいと語ってくれた。

**伝統と革新
お互いを引き立てる二つの存在**

波佐見焼の窯元が多く集まる中尾郷は、いくつもの煙突が並びノスタルジックなまち並みが魅力だ。入り組んだ路地裏をゆっくり散策しながら、一軒一軒窯元をのぞいて回る。ぬくもりある波佐見焼を眺めていると「どうぞ」とお茶をすすめられる。波佐見の人はおもてなし上手だ。

中尾郷に生まれ育った自治会長の北村さんに「古いまち並みがきれいでですね」と話しかけると、「普通に生活しているだけで、何もしていないよ」と笑う。

「住んでいると価値が分からなかった。そのうち『路地裏がいい』『古い雰囲気がいい』と耳にし、それを守るためになんとかしなくちゃいけないと考える

▶文化の陶「四季舎(しきしゃ)」館長の畑中さん。県認定の「地産地消こだわりの店」として、地元で採れた食材を使ったメニューで楽しませてくれる。使う器はもちろん波佐見焼。昭和初期に建てられたやきもの工場を改修した店内は、真ん中に囲炉裏(いろり)があり、窯ではビザを焼くこともできる(要予約)。窯めぐりのひと休みにいかがですか。



ようになりました」(北村さん) すでにあったものの中から、新たな価値に気付き、それを守りつつさらに美しいものに変えていく。「何もしていない」が価値になった。

「県のまちづくり景観資産に登録され、住民が主体的に景観を守ろうとさまざまな活動をしています。それに波佐見の人間は研究心が旺盛。若い窯元の感覚と、センスを重視する若いお客さんの感覚がマッチして、「ニュー波佐見焼」も生まれました。おかげさまでたくさん観光客が来てくれるようになったんですよ」(北村さん)

流行に左右されない伝統と時代に即して新しいものを生み出す力。波佐見



▲文化財保護係の中野さん

の魅力を語ろうとすると不思議とこの相反する言葉が出てくる。

波佐見町教育委員会文化財保護係の中野さんは「歴史や文化を調べ、波佐見には貴重な宝がたくさんあるということが分かっていきます。それを生かしたまちづくりを進め、後世に伝えていきたい」と未来を描く。

穏やかなまなざしの中野さんがこう結んだ。「出張授業で小学校に行き、子どもたちに波佐見の歴史を話す機会をもらっています。子どもたちには波佐見に生まれ育ったことを誇りに感じて欲しい」

この誇りが、波佐見らしい景観を未来につないでいくものになるだろう。

景観行政団体

景観法に基づき景観行政を担う主体として、都道府県、政令市、中核市がなるとともに、都道府県との協議を経たその他市町村ができる。景観行政団体は良好な景観形成のため、景観に関する規制内容などを定める景観計画を策定することができる。波佐見町は平成24年に景観行政団体となる。

波佐見町景観計画

まち全域を景観計画区域に定め、緩やかなルール設定により広域的な観点で景観誘導を図っている。また、特に重点的に景観形成を進めることが必要な区域として、鬼木棚田、陶郷中尾山、宿郷、西ノ原の4つの区域を重点景観計画区域(案)に指定する検討が進められている。

01 “今年も「子ども霞が関見学デー」が開催!”



真い子
剣つど
だでも
もは

子ども霞が関見学デー
平成27年7月29日(水) 30日(木)

集合場所
国土交通省(東京メトロ霞ヶ関駅または桜田門駅)
気象庁(東京メトロ竹橋駅または大手町駅)

国交省 キッズ 見学

<http://www.mlit.go.jp/kids/index.html>
一部のイベントで事前申し込みが必要になる場合があります。ウェブサイトでご確認ください。

お問い合わせ
大臣官房広報課広聴係 03-5253-8111 (内線21574)

02 “「国交省政策チャンネル」がスタートしました!”

「国交省政策チャンネル」をホームページに新設しました! 国土交通省のさまざまな「施策」「事業」「取り組み」の中で、普段はなかなか見えてこない活動をピックアップし、動画やスライドを中心に、分かりやすく紹介することで、皆さまに興味を持っていただきたいと思っています。ぜひご覧ください!
※携帯電話からご覧になる場合は、機種により全てのデータが表示できない場合があります。

国交省政策チャンネル
国土交通省のさまざまな政策をわかりやすくまとめています

国交省 政策チャンネル

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/channel.html>

お問い合わせ
大臣官房広報課広報第二係
03-5253-8111 (内線21527、21529)



イベント・ルポ

旅行博覧会

「ITB Berlin 2015」に参加



ITB Berlinとは?

毎年3月に開催され、世界中から旅行業界関係者が集まる世界最大級の旅行博覧会。2015年の実績は、1万社を超える出展団体、約18万人の来場者が世界186カ国から集まりました。

世界最大級の旅行博覧会で日本の魅力を発信

昨年、年間の訪日外国人旅行者数が1341万人を達成しました。観光庁では、2020年までに訪日外国人旅行者数2000万人を目指し、さまざまな施策を行っています。その一つに、外国人に観光地としての日本の魅力をPRする「ビジット・ジャパン事業」があります。

今回、ビジット・ジャパン事業の一環として、ドイツのベルリンで開催された世界最大級の旅行博覧会「ITB Berlin 2015」に日本ブースを出展しました!

ブーステーマは「日本の伝統、和」

日本のブースでは、浴衣やお茶、折り紙など日本文化の疑似体験をしていただいたり、R子さんという日本人アーティストが現代的な日本の歌を披露したりするイベントなどを開催しました。「桜、富士山」を取り入れたブースデザインは日本的だと大好評でした。



同ブースでは、日本と外国の旅行関係者が新しい旅行商品を作るための商談を行い、日本からは地方自治体や旅行会社などが参加しました。

商談の中で企画するツアーは、ゴールデンルート(東京や京都、大阪、富士山など)中心ですが、ドイツのお客さまからはハイキングや自然体験の要望も多いので、これらに添えていけるようにがんばっています。



日本政府観光局 (JNTO) フランクフルト事務所 大野幸所長

JNTOホームページ
<http://www.jnto.go.jp/jpn/>

観光庁ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>
観光庁ツイッター
@Kanko_Jpn

